

# 自動車感性評価学

人間科学分野

志堂寺 和則

## 講義の目的

2

自動車の感性評価，官能評価で用いられているデータ解析法について学ぶ。

感性評価，官能評価を扱った論文を読む力を身につけると同時に自分でデータを取得し解析をおこなうための基礎力を身につける。

## 講義の内容

3

自動車の魅力を高めていくためには、乗り心地、快適性をいかに高めていくかが重要であり、そのための手法として感性評価、官能評価がある。

この講義では、最初に、感性評価、官能評価の考え方、測定方法について解説した後、質的データ、量的データの統計的解析方法について述べる。

## 講義の内容

4

次に、より高度な評価分析法として多変量解析を紹介する。

自動車分野で各手法が実際にどのように用いられているのかがわかるように、適宜、その手法が用いられている事例を紹介する。

## 授業計画

5

- (第1回) ガイダンスとRの使い方 (入門、データ構造)
- (第2回) Rの使い方  
(グラフィックス、制御構造、入出力)
- (第3回) 測定方法
- (第4回) 統計解析の基礎
- (第5回) 質的データの解析法1 (名義尺度)
- (第6回) 質的データの解析法2 (順序尺度)
- (第7回) 量的データの解析法1 (t検定)

## 授業計画

6

- (第8回) 量的データの解析法2 (分散分析の基礎)
- (第9回) 量的データの解析法3 (分散分析の応用)
- (第10回) 量的データの解析法4 (分散分析の発展課題)
- (第11回) 2変数の関係の分析法 (相関係数)
- (第12回) 多変量解析3 (重回帰分析)
- (第13回) 多変量解析4 (因子分析・主成分分析)
- (第14回) 多変量解析5 (判別分析・クラスター分析)

## 授業の進め方

7

- 毎回、出席チェック。
- 2／3以上の出席がない場合は、不可。
- 定期試験（50点）とレポート（50点）の合計で評価する。

## 参考書

8

- 『Rによるやさしい統計学』 山田・杉澤・村井 オーム社
- 『よくわかる心理統計』 山田・村井 ミネルヴァ書房
- 『心理学のためのデータ解析テクニカルブック』 森・吉田 北大路書房
  
- 『官能評価の基礎と応用：自動車における感性のエンジニアリングのために』 天坂・長沢 日本規格協会